2026 年度後援会理事会説明資料（学生部）

学生生活について

・経済的支援制度(奨学金、授業料減免)

		2026 年 9 月	2 月時点比
多子世帯の授業料減免		学部生の約 25%	±0
給付型の奨学金（多子世帯を含む）		学部生の約 36%	＋2
貸与型の奨学金	第一種（利息なし）	全学生の約 27%	－1
	第二種（利息あり）	全学生の約 20%	＋1

上記経済的支援のほか、本学独自の授業料減免、新見公立大学ふるさと育英奨学金（ふるさと納税を活用)、シップヘルスケア古川教育財団、各自治体の奨学金などがあります。

・野菜の無人販売

6 月 22 日より、食堂において野菜の無人販売が始まりました。新見市内の家庭菜園で収穫された余剰野菜や米が安価に提供されており、学生からは「量がちょうど良い」「安い」と好評です。1 袋の量は一人暮らし向けの分量で、価格は一般的な相場の半値から 3 分の 2 程度です。この取り組みは、新見市の地域課題解決を目指す共同団体「タスカルワ」によるプロジェクトです。

・通学バス

通学の利便性向上のため、4 月より通学バスの支援をしています。新見駅と大学を結ぶ朝のバスについては、これまでの新見教習所バス 1 便に加え、本学が借り上げたバス 2 便（8 時 20 分新見駅発、9 時新見駅発）を増便しています。利用者が多く、学生の移動手段として定着してきたことから、後期も同様の支援を継続することといたしました。

また、「ら・くるっと」利用者には、運賃 200 円が無料となる利用券を配布しており、朝だけでなく終日、さらに土日も利用できます。

・新見公立大学ブランド商品プロジェクト

産学連携による地域活性化および大学ブランド力の向上を目的として、「新見公立大学ブランド商品」のアイデアを学生・教職員・地域の方々から募集しました。応募作品を審査した結果、光るキーホルダー、米粉ラングドシャ、レインコートなど 5 作品が採用されました。現在、商品化に向けてプロジェクトが進行しています。

現在は第 2 弾となるグッズデザインの募集を行っています。

・大学祭（鳴滝祭）

5 月 16 日（土)・17 日（日）に鳴滝祭を開催しました。両日とも多くの来場者で賑わい、盛会のうちに終了しました。鳴滝祭実行委員会主催のバザーも行われ、売上金は新見市社会福祉協議会へ寄付されました。また、お笑いライブは「ハナコ」「きしたかの」の 2 組が出演し、会場は大いに盛り上がりました。

・スチューデント・アシスタント（SA）の活動

学生生活支援センターの SA が、ペットボトルと古紙の回収活動を行っています。教職員が自宅で集めたものを持ち寄ったり、この取り組みを知った地元企業の方が職場で集めたものを持参してくださったりするなど、学生だけでなく多くの方々からご協力をいただいています。回収したペットボトルキャップの収益は、ワクチン支援活動へ寄付しています。